

## 健康あいしょう 21 第 4 期 (案) のパブリックコメントの結果について

貴重なご意見・ご提案をいただき、誠にありがとうございました。

お寄せいただいたご意見・ご提案の内容と、それに対する計画書の反映方法を取りまとめさせていただきますので、お知らせいたします。

1. 意見募集期間：令和 2 年 1 月 10 日（金）～令和 2 年 1 月 30 日（木）
2. 資料閲覧場所：①愛荘町役場（愛知川庁舎情報コーナー、秦荘庁舎情報コーナー）  
②図書館（愛知川図書館、秦荘図書館）  
③地域総合センター（長塚、川久保、山川原）  
④福祉センター（愛の郷、いきいきセンター）  
⑤町ホームページ
3. 意見提出者：5 名
4. 内容

No	ご意見・ご提案	計画書への反映方法
1	<p>町民の健康づくりへの基本理念&amp;基本方針（P16）は大変すばらしいと思う。また各論においても愛荘町の現状がわかり、自分自身の健康や生活習慣を見直す良いきっかけになると思う。</p> <p>広報紙「aisho」1月号2月号に意見公募の情報が無かったのでこのパブリックコメント公募情報をどれだけの住民が知っているかが気になった。せつかくの資料をもっと PR したほうがよい。</p>	<p>意見募集について、ホームページでお知らせをいたしましたが、広報でのお知らせができておりませんでした。</p> <p>今後、完成した計画の概要版を全戸配布して、町民の皆様に PR していく予定です。</p>
2	<p>全体として数値の使用、まとめ方等にいろいろな努力・工夫がされていると感じた。特に第 6 章ライフステージ別の取り組みは全体像を分かりやすいものにしたことで評価できる。</p> <p>「健康あいしょう 21(第 4 期)」は誰を対象として配布・周知されるものか。中味が濃い分、事業仕様書・専門書のように関係者向け用に見える。対象者である町民に対して周知・協力を求めるには「病気と原因」「関連性」「意味・解説」が付記されていると理解しやすいのではないか。</p>	<p>病気とその原因の図式を挿入し、病気と原因の関連に対して町民さんの理解を得やすいようにします。また、専門的な語句は注釈や説明書きを加えます。</p> <p>例) 悪性新生物 (がん)</p>

3	P9 (8) 医療費の状況について、5月診療分を使用されているが、1ヶ月分ではその時期の医療傾向＝受診状況がわかりにくく1年間の数値を使用した方が精度を高められると考える。年報がある。	ご提案のとおり、精度を高めるため、1年間分の医療費の状況で見ただけのようグラフを変更します。
4	P18 上欄がんの罹患者数 →町と県との数字比較だけでは分母が違いわからない。併せて割合の表示が必要。	罹患者数と割合での表示とを合わせて表示します。
5	資料の出自 →入手上やむを得ず国保データを使用されていると思いますが、国保加入者は約4,000人で(令和元年11月末・3,808人)で町民全体の1/5以下です。これを町民全体の傾向として錯覚してしまうのでそのことの注意書きが有ればと思う。また、後期高齢者が町内に約2,400人程度いますが、このデータの活用が出来れば、町内の高齢者のほぼ全体像が把握できるのでないか。	資料については、町民さんが錯覚されないよう説明を加えます。また、後期高齢の方の健診は対象者が限られる(定期的に医療機関に受診をされていない方に限定)ため、本計画では活用しません。
6	医療費について P8に若干触れられているが、今後社会保障費が国の財政・国民の負担問題として大きな課題となる。国民皆保険制度・介護保険制度は絶対に守りぬかねばならない制度である。そのためには各自が自分の健康は自分で守り、結果として財政面で協力できるところは協力する意識が必要。 健康対策は同時に健全な制度維持に繋がることを町民に理解してもらう必要がある。その意味で病気と医療費・介護費面についても触れるとよい。	医療費の増大は財政に大きな影響を与えています。計画書第1章に、病気と医療費の内容をもりこみます。 介護費については、「愛荘町いきいきホッとプラン」の計画書中で詳しく記載をしています。
7	P10 第3章前計画の評価 それぞれの評価に対する要因等が明記されている方がよい。 例えば◎はどのような取り組みをしたか、△はどんな事が原因で改善できなかったのか。	第4章以降で項目ごとに課題を抽出し、それに基づいた取り組みと数値目標を掲げております。健康課題は様々な取り組みが絡み合いながら相乗的に効果があると考えています。また、現状と課題、その結果、今後取り組むべきことを具体的に記載しています。
8	第2章・第3章を土台にして、第4章・第5章が作られたと思うが第3章の結果がどのように活かされたのかという経過が読み取りにくい。	

9	第4章・第5章ではもっともな内容なのでよくわかった。書いてあることをまず町民に知らせないと目標達成できないので、それぞれの領域ごとに「普及啓発」の文言が出ているが、各機関が具体的にどのように取り組むか、またどのように連携するかの検討が必要。	今後も愛荘町健康づくり協議会で「普及・啓発」と「連携の在り方」について、具体的な方法を検討し、PDCA サイクルを繰り返し目標達成につなげたいと考えています。
10	P23 1行目本計画で初めてメタボリックシンドロームが登場するが、解説の意味も込めて「メタボリックシンドローム（内臓肥満者）」としてはどうか。	ご提案のとおり、「メタボリックシンドローム（内臓肥満者）」とします。 また、今後も広く啓発し、住民の皆様の生活習慣病予防につなげたいと考えています。
11	メタボの一般アンケートで（メタボリックシンドロームについて）「よく聞くが内容はあまり知らない」41.6%と「ほとんど全く知らない」22.6%と合わせると6割以上であり、実際メタボの人がメタボの内容を知らないということであり、指導が必要である。	
12	P37「企業において業務の一環として健康づくりに取り組みを進めます」とあるが、従業員の健康は会社の健康につながる、大変重要なことである。	地域と職域連携に今後も努めていきます。
13	P41の5行目と整合性をとるため、P40 ロコモティブシンドロームの説明を「運動器の障がい（・・・骨折など）により要介護状態になる・・・」に「衰え」を入れ、「運動器の衰えの障がい・・・」とした方がよい。	ご提案のとおり、「衰え」を加え、整合性を図ります。
14	喫煙について 加熱式たばこや電子たばこに変えている喫煙者がいるが、両方とも健康被害に対して安全だとのエビデンスがない。課題の中に、電子タバコに関する内容を入れてはどうか。	ご提案のとおり、「4. 喫煙」に、加熱式たばこや電子たばこも含めた対策であることを明記します。
15	町内の禁煙外来について 「愛知川」・「秦荘」に偏りがないように、愛知川2医院、秦荘2医院と目標を分けてはどうか。	「愛知川」・「秦荘」と分けず、愛荘町全体として考えています。 また、社会全体の流れを汲み、より踏み込んで各医療機関への働きかけを行います。
16	P50 歯・口腔の健康について それぞれの取り組み「定期的に歯科健診を受	ご提案のとおり、「半年に1回は歯科健診を受けよう」へ変更し、定期

	<p>けよう」は具体的に「半年に1回は歯科健診を受けよう」としたほうがわかりやすい。</p>	<p>受診の期間を明確にします。</p>
17	<p>P54 現代社会を生きていくために、誰もがストレスを持っている。自身でコントロールすることが大事であり、何事も前向きに希望と夢を持っていく指導をしてほしい。個人差も状況も違う。しっかり取り組みしてほしい。</p>	<p>「いのち支え愛プラン」の推進を含め、取り組みます。</p>
18	<p>P55 23行目 「男性の自殺が多く、理由の多くが家庭問題…」とあるが、P53の表では男性の1位理由が「健康問題」であり整合性がない。 男の悲哀を表したこの文章は捨てがたいので、「自殺者は男性に多い。男性は健康問題や家庭問題等があっても人に相談できずに1人で悩みを抱え込む傾向があります。」としてはどうか。</p>	<p>ご提案のとおり表現を変更します。</p>